

いぬめがわ

[広報]
PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA

December
2021
第812号

12

いぬめがわ
December
2021
12

令和3年12月1日発行（毎月1日発行）
第812号（昭和27年9月創刊）

発行／福島県鮫川村 編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39番地 5



■クローズアップ
中高生未来ジュク
■別冊特別カラー
Instagram
フォトコンテスト結果発表

鮫小：大豆脱粒の様子



ぼく・わたしの夢 [第67回] 鮫川小6年生

須藤優空さん

私は、みんなにたよられるレントゲン技師になりたいという夢があります。きっかけは私が足首を痛めて病院に行ったとき、私の伯母がレントゲンを撮ってくれました。「ここは痛くない?」と言ってくれたことで、初めてだけれど、怖くありませんでした。私もみんなからたよられるレントゲン技師になれるよう、きれいな勉強もあきらめずにがんばりたいです。

阿久津美空さん

私は、将来ファッションデザイナーになりたいです。なぜかという、前にテレビでファッションデザイナーのお仕事についてやっていて、私はとても楽しそうなお仕事で良いな、やってみたいと思ったからです。もし夢が叶ったら女性のスカートやワンピースなどのデザインがしたいです。夢に向かって勉強をしっかりと頑張りたいです。

鈴木大稀さん

ぼくは、将来みんなを楽しませることができるような、プログラマーかユーチューバーになりたいと思います。理由は、あるゲームで世界1位の人とオンラインで戦って、1回だけ勝ててうれしかったからです。しかもその後その人のユーチューブを見たら、「この人うまかったなあ」とほめられていたので、絶対にプログラマーになって、みんなを楽しませたいと思いました。

My favorite Snapshot in SAMEGAWA
みんなの写りがわ

ハッシュタグ
「#さめがわいいとこ」
を付けたInstagram投稿写真を紹介します



皆さんの素敵な写真を投稿しよう!!

投稿日 2021年11月4日
投稿者 1or8plus1

今回は@1or8plus1さんの投稿から紹介します。鹿角平キャンプ場です。満点の星空の下でキャンプができる魅力が見事に伝わってきます。ぜひ足を運んでみてみてください。

SNSでも情報配信中
村公式アカウントはコチラ

スマホで読み込むとページに移動します

編集後記
寒くなって朝布団から出ることが億劫になります。今年は広報担当になり、改めて紅葉の素晴らしさを感じることができました。鮮やかな色味だけではなく、葉が散り行く先にも美しさがありますね。（菊地）



鮫川中2年生 石井萌桂さん



鮫川中2年生 木之内結梨さん



鮫川中2年生 高野朱莉さん



close up

中高生未来ジユク

先月号に引き続き、中高生未来ジユクの様子をお届けします。

村の中高生を対象とした学びの場「中高生未来ジユク」は10月27日（水）に最終回を迎えました。未来ジユクのテーマである「決断力」は人生を歩んでいく中でとても重要なことです。学校教育とは違う環境で彼らは何を学び、何を感じたのでしょうか。最終回を迎えた中高生の声を聞いていきましょう。

参加者の声

個性を活かす

「できることは全てやる、やるなら最善を尽くす」という岡野さんの言葉が一番心に残っています。自分の人生の道しるべになる言葉だと感じました。今回のことは人生についてよく話す母にも伝えたいです。岡野さん、お忙しい中、教えていただきありがとうございます!天パを活かす一番の髪型を教えてください!(我妻)

人生の経営者だ

「自分は人生の経営者だ!」この言葉は、未来ジユクに参加するまでは全く気がつきませんでした。友達を大切にして、頼まれごとをよく考えて人生を歩んでいきたいと感じました。今回学んだことを友達みんなに伝えたいです。岡野先生、一生忘れません!ありがとうございました!(目黒)

修明高校1年生 我妻佑作さん

毎日を楽しむ

「才能を見つけるために必要なのは好奇心だ」という言葉が刺さりました。自分の才能が何か分かりませんでした。この言葉のおかげで見つけられました!毎日を楽しんで才能を増やしていきます!(高野)

実現させる

「自分は人生の経営者」という考え方は感激しました。自分の人生は誰のものでもなく、自分のものなんだと自覚できました。これから目標、志に向かって人生の経営者になります!(石井)

何事も飛び込む

人に決められた人生ではなく、自分からいろいろなことに飛び込んで挑戦していきたいです。考えを深く持ち好奇心を持ちます。今日書いたことを毎日読みたいと思います!(木之内)

幸せは価値観に

左右される

夢を叶えて「幸せ」になる

講師の岡野さんは「みなさんはどんな時に幸せを感じますか?自分の好物を食べたとき、好きな人と一緒にいるとき、誰かにありがとうと言われたとき...」

「幸せの感じ方は人それぞれで異なります」と中高生に語りかけます。

「幸せの感じ方、考え方は人それぞれ違うものです。それは一人ひとりの「価値観」が違うからです。岡野

さんは「自分の価値観を明確にする」ことが幸せになるために大切なことだと説きます。

他人と比べない

「価値観を明確にすることは、人と自分を比べて落ち込んだり、妬んだりすること無くするために必要なことです。自分と他人を比べて一喜一憂することは、もったいない時間の使い方ではないでしょうか。」

夢はゴールじゃない
志を持って人生を歩く

価値観を明確にすること
で他人と比べることなく、
自分の「幸せ」を見つけやすくなることでしょう。

「夢を叶えることが人生のゴールではない」と岡野さんは言います。

叶えたら終わりなのが夢であり、それは自分の得たものでしかありません。価値観を明確にすることで目的が見つかります。それが「叶えて与えるもの」。「志」を持って人生を歩くことができる方法なので



講師の岡野誠さん



鮫川中1年生 目黒豪心さん

スムーズな手続きのために 年金相談は予約が便利

白河年金事務所では、ご自身の年金請求手続きや年金額に関する相談、ご家族が亡くなられた際の手続きなどについて、待ち時間なくスムーズにお手続きいただけるよう事前のご予約をお願いしております。

例年、冬季期間は窓口が大変混雑しております。ご相談を希望される3日前までにお早めに

予約をお願いします。
※ご連絡の際は、**基礎年金番号**の分かる年金手帳などを準備してください。

受付時間 月～金（平日） 8時30分～17時15分
日本年金機構
☎0570-0514890



子どもの教育資金を考える人へ 国の教育ローンがサポート

国の教育ローンは、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学などに入学・在学する子どもを持つ家庭を対象とした公的な融資制度です。

融資額 子ども1人に350万円以内
金利 年1.66%※母子家庭は年1.26%
返済期間 15年以内※母子家庭は18年以内



☎教育ローンコールセンター
☎0570-0008656
☎03-5321-8656

秘密は守られます。安心して相談を 第73回人権週間

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会では、12月10日（世界人権宣言採択日）の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、各地で世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るための行事を計画しています。そこで、福島地方務局および福島県人権擁護委員連合会では、12月4日から10日までを「第73回人権週間」とし啓発活動や相談活動を行ないます。

また、人権週間に限らず、電話相談を実施していますので、悩み事がありましたら専用ダイヤルにお電話ください。秘密は守られます。

相談は、人権擁護委員及び、法務局職員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

- ▼みんなの人権110番
☎0570-0003110
- ▼子どもの人権110番
☎0120-007110
- ▼女性の人権ホットライン

■世界人権宣言とは？
世界人権宣言は、1948年12月10日の第3回国際連合総会で採択された、すべての人民とすべての国が達成すべき基本的人権についての宣言です。
正式名称は「人権に関する世界宣言」。世界人権宣言は、この宣言の後に国際連合で結ばれた人権条約の基礎となっており、世界の人権に関する規律の中核とも基本的な意義を持っています。



☎0570-070810
※年末年始を除く平日、8時30分～17時15分
☎福島地方務局人権擁護課
☎024-534-1994

HOT TOPICS ロングセラー商品

2022年版：福島県民手帳が販売開始!

2022年度版の福島県民手帳が販売開始となりました。県内の行事や観光地、道の駅案内図などのお役立ち情報から、県の人口や財政状況といった統計データも充実しています。

県内の書店はもちろん、村役場でも販売しております。購入を希望する人は村総務課企画情報係までご連絡ください。

※役場取扱量は限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。

※手帳のほかにも要覧も取り扱っています。

☎村総務課企画情報係

☎49-3111



第13回フォトコンテスト審査会 四季折々の写真で魅了する

11月18日（木）に村役場正庁で第13回フォトコンテストの審査会が行われました。

鈴木達也さん（白河市）の作品が特選（鮫川村長賞）を受賞しました。また、審査員長特別賞として一般写真、星景写真、それぞれ1点ずつが選ばれました。その他、準特選4点、入選5点、佳作3点が選ばれています。受賞作品は鮫川村ふるさとの四季カレンダーや各種パンフレットに使用される予定です。

審査員長 ▼福島県写真連盟副会長 加藤明 様



審査員長特別賞(星景)：七月七日の夜★彗星を待ちながら(山内壮介さん)



審査員長特別賞(一般)：元気に遊ぶ(柏館健さん)



特選：境内の守護獣(鈴木達也さん)



可愛い飴細工を受け取り笑顔の生徒

飴細工作りに感激

修明高校鮫川校で芸術鑑賞会「風のまつり」開催

修明高校鮫川校(佐藤孝則分校長)で11月5日に芸術鑑賞会が開催されました。演者として招かれたのは飴細工職人の水木貴広さん(東京都八王子市)です。水木さんは海外でも公演を行うなど、活躍の場を広げています。軽妙なトークと見事な手さばきで、次々と美しく可愛い姿に飴を変身させていきました。その様子に感激し、1つ出来上がるごとに会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。

鮫川村の食で魅力発信！

鹿角平でオンラインイベント

鹿角平観光牧場で「第2回ふるさと食体験オンラインイベント」が11月20日に開催されました。参加者(21名)には事前に手まめ館から食材が届けられ、当日はZOOM*で参加しました。今回のメニューは「白坂農園直伝の芋煮」で、人参やごぼうは白坂農園で作られたものです。イベントには白坂農園の白坂忠幸ご夫妻と、その家族も参加したことにより「農家さんの生の声が聞けて嬉しい」「鹿角平に行きたい」との声が参加者から多く聞こえました。



ZOOMでイベントに参加する白坂忠幸ご夫妻とお子さまたち

※ZOOM: オンラインテレビ会議システム



大豆の房を叩いていよいよ大豆の収穫です

実りの秋を実感

鮫川小で大豆の脱粒体験

鮫川小学校(齋藤雅彦校長)の3年生が11月17日に校庭で大豆の脱粒を行いました。講師に松本哲明さん(二反田)が招かれ、手作業での脱粒の方法を教えました。青空の下にビニールシートを広げ、一斉に大豆の房を叩き始めると「すごい!いっぱいできてきた!」「飛んで行っちゃった!」と児童たちは歓声をあげ、マスク越しでも分かるほどの笑顔で作業に取り組んでいました。

鮫川村で職業体験

修明高校インターンシップ

修明高校(郷清隆校長)2年生(坂本大夢さん、芳賀悟さん)のインターンシップを11月10日~12日の間、村役場で受け入れました。10日と11日には「ゆうきの郷土」でたい肥の袋詰めや散布、薪割りを体験しました。最終日は広報作りに取り組み、一眼レフカメラを使った写真撮影にも挑戦しました。「短かったけど濃い時間を過ごせて良い経験になりました」と充実した様子で活動を終わりました。



強滝で紅葉の撮影に挑戦する2人



薪割りを体験する芳賀さん(撮影者:坂本大夢さん)

長年のリサイクル活動が表彰

鮫川村赤十字奉仕団「もったいないプロジェクト」

10月26日に鮫川村赤十字奉仕団が村長室を訪れ、アルミ缶リサイクル協会から「令和3年度アルミ缶一般回収協力者表彰」を受賞したことを報告しました。活動は平成19年10月から始められ、回収したアルミ缶を回収業者に引き渡した収益を、地震や水害に見舞われた被災地への義援金として寄付し続けてきました。昨年度までの回収累計は11,136キログラム、収益金は472,397円になっています。



受賞の報告をする高杉タカ子さん(真ん中)と芳賀伊津子さん(左)

廃校後の活用を話し合う

第1回廃校利用検討委員会が開催

11月16日に「第1回廃校利用検討委員会」が役場正庁で開かれました。委員会は16名の委員で構成され、令和4年3月31日で廃校が決まっている修明高校鮫川校の建物の活用について話し合われました。村長の「村としては経済や人材育成に痛手となりますが、現状に立ち向かい、身の丈に合った村づくりを進めるご意見をいただきたい」とあいさつがあり、各委員からは「後世に負担をかけないような取り組みを行って欲しい」との声がありました。第2回は今年中に開催予定です。



第1回廃校利用検討委員会の様子

手まめ館に長蛇の列

感謝祭が大盛況

11月3日に手まめ館で「16周年大感謝祭」が開催されました。特売価格の商品や、「ファームつばさ」特製のジャージー牛乳を使ったソフトクリームも販売されました。村内外からのお客様が1日中絶え間なく訪れ、店外には長蛇の列ができていました。買い物を終えた人に話を伺うと「新鮮な野菜がたくさん並んでウキウキしました。なかなか外に出る機会がなかったですが、賑やかな様子を久しぶりに見れて楽しかったです」と話してくれました。



多くの人でにぎわう会場の様子

Book

図書館からおすすめの本をご紹介します
 鮫川村図書館 ☎ 29-1150

ブラックウェルに憧れて

南杏子、光文社



医大の解剖学実習で組まれた女性4人。優秀な成績で卒業し、真摯に医療の道を歩む彼女たち。4人それぞれが直面する現実、過酷な医療現場、男性医師との格差。彼女たちの悩み、闘いが描かれています。

大人かわいい飾り切り

ほりえさちこ、主婦の友社



ふだんの食卓からお弁当、クリスマス、お正月、お誕生日など、さまざまなシーンで料理をデコレーションできる飾り切り。野菜やフルーツ、卵、ハム、かまぼこやちくわの加工品など、いろいろな食材を花、葉っぱ、動物、リボンなどのかわいいモチーフからストライプ、水玉、チェック模様の飾り切りのアイデア225点を紹介しています。



第3土曜日は
 家族一緒に読書の日
 ←新着図書はコチラ

地域おこし協力隊通信 - 第1回 - 阿部 昌子 隊員



「達者の味噌」の仕込み風景

村の食材を使う意義

地域おこし協力隊として8月から手まめ館でお世話になっている阿部昌子です。8月、9月は手まめ館で生産者のみなさんの顔を覚えたり、畑に連れて行っていただいて収穫の手伝いをさせていただいたりしてきました。特にえごまの収穫はとても貴重な体験でした。先日は看板商品である「達者の味噌」の仕込みにも挑戦しました。重労働でしたが楽しく作業できました。着任してからあまり時間は経っていませんが、よくいらっしゃるお客様からは声をかけて

いただけるようになり、顔を覚えていただけたようで非常にうれしく思います。

私は土地のもの…村の食材を使うことを大切にしたいと考えています。今年はカボチャが豊作だったので、私が大好きなプリンを作ってみようと思い、現在商品化に向けて試作しているところです。カボチャと豆乳を使ったシンプルなものですが、牛乳や卵を使わないので乳製品アレルギーの人にもおいしく食べていただけたと思います。来年の春には店頭に出せるようにこれから試作を重ねていきます。他にもいろいろなアイデアを募集しているので、遠慮なくお声がけください。これからもよろしくお願いします。



試作中の「かぼちゃ豆乳プリン」

1年遅れの東京オリンピックが終わり、スポーツの喜びや感動を家族一緒に感じる事ができました。私には息子が3人います。小学校の長男と次男は、学童野球に所属しており、日々練習に励んでいます。週末には、練習試合や各種大会に参加し、私の両親を含め、家族みんなで応援に行っています。息子が学童野球を始めたころは、自分の休日をつぶして野球の応援に行くことなど考えられませんでした。しかし、学年が上がるにつれ、息子たちの成長する姿や活躍する姿を見ることができるようになり、今では応援に行くことができるため、今では応援に行くことが私の楽しみの一つになっています。仕事の都合で応援に行けなかったと

村民【随想】リレー — (279)

中川西 吉栄さん

家族がいるから

きは、息子たちが「ヒットを打てた」「アウトが取れた」など教えてくれて、応援に行けなかったことを後悔するほどです。3歳の末っ子も、長男と次男が練習していると「自分もやりたい」と、おもちやのバットを振り、混ぜつて練習しており、息子たちが野球を楽しんでいる姿を見て、私自身の仕事の励みになっております。コロナ禍の影響はありますが、息子たちには野球ができることを感謝し、これからも大好きな野球を続けていってもらいたいです。

次号は、松本春美さん(二反田)にバトンタッチ！

柏餅四つも食べて老元氣
 中井 恒峯

洪柿の収穫盛ん皮剥きへ
 北條素人坂

コスモスの揺れ動く道選挙カー
 松本 精一

十三夜足湯の側の傘二本
 渡辺 家造

初紅葉壇寺の正門開ける音
 山本 恵子

日が沈む向い隣の花八手
 斎須 信子

山羊の子の乳飲みおるを覗き見る
 山本五十鈴

短歌

宅配にキルト仕上げのソファーカーバー
 妹の手仕事しばし抱きしむ
 鈴木イミ子

庭隅にひっそりと咲く寒桜ふればこぼるる鶉色滴く
 須藤 幸子

初曾孫無事産まれしを報告す遺影の夫も頬笑むごとし
 関根キヌ子

風吹きて銀杏黄葉がうめつくす夕暮の庭金色にかがやく
 赤坂 和子

十三夜奥ゆかしかな後の月薄墨の空かくれてみえず
 藤田智枝子

セニアカー笑って差し出す温みかん気をつけてねと言葉を添えて
 矢吹 一二



なかがわさい・よしえい ● 1983年10月生まれ。
 趣味：ツーリング(忙しくて行けていない)
 石井草字石井。38歳。

俳句

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村総務課広報担当まで。
 ■村総務課企画情報係
 ☎ 49-3111

暮らしのカレンダー

12/1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	第1日曜日は環境美化の日 塙厚生病院 ☎43-1145
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	木村医院 ☎46-3528
13	月	3か月児健康診査 お母さんの口腔健康相談
14	火	
15	水	
16	木	7か月児健康診査 / 10か月児健康診査 お母さんの口腔健康相談
17	金	
18	土	
19	日	あらまちクリニック ☎33-8018
20	月	心配ごと相談
21	火	
22	水	やまぶきの会
23	木	第2学期終業式(幼稚部)
24	金	第2学期終業式(小・中学校)
25	土	
26	日	つちやクリニック ☎43-2250
27	月	
28	火	官公庁仕事納め
29	水	
30	木	東館診療所 ☎46-2312
31	金	和田医院 ☎33-2012
1/1	土	大木医院 ☎33-2424
2	日	深谷クリニック ☎33-3223
3	月	車田病院 ☎43-1019

戸籍の窓 ※10月届け出分・敬称略

お誕生 今月のお誕生はありませんでした。

**おく
やみ**

住所	氏名	月日	年齢
水口	須藤泰助	9.29	84歳
前田	矢吹勝治	10.7	77歳
世々	麦瀬谷政義	10.8	87歳
鍛治平	坂本喜一	10.11	69歳
遠ヶ	竜森保	10.16	89歳
水口	箭内シナ	10.26	90歳
水口	阿久津國市	10.28	86歳

**人の
動き**

11/1現在
()は前月比

人口	3,117人 (-10)
男	1,582人 (-10)
女	1,535人 (0)
世帯	1,065戸 (-2)

診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

曜日	月	火	水	木	金
地区	赤坂中野 赤坂東野・ 石井草	赤坂西野 西山	全村	青生野	富田 渡瀬

問 村国保診療所 ☎49-2028

NOTE

毎月8日は歯の日です
防災無線で虫歯予防を呼びかけます



12月の担当は――

鮫川中学校保健給食委員の1年生です。

- さちえ 齋藤幸恵さん
- しょう 円谷翔さん
- あいら 水戸愛来さん
- こうしん 目黒豪心さん
- あかね 森田朱音さん

やまゆり乳児室・保育室 [こ]

筋力づくり教室 [保]

あおぞら号昼バス運行日

みなさん
村民との対話の日

村づくりや地域づくりは、まずは対話と懇談から…。
村民の皆さまのご意見、ご要望を村長がお聞きいたします。

次回(第23回)対話の日
日時 12月23日(木)
13時30分～18時30分
場所 「村民ホール」(正面玄関をに入って右側)

晩秋から初冬へと移り変わり、今年も残すところ1ヶ月となりました。村民の皆様にとって、どのような1年であったでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染者も県内では0人と、落ち着きを見せています。感染状況を勘案し、行動自粛も解除されるなど、元の生活が戻りつつありますが、年末・年始の国民の気の緩みが第6波を引き起こすともいわれています。

村民の皆様、もう少しの辛抱です。年末年始も引き続き従来の感染防止策を徹底して、新しい良き年をお迎えください。

周松政雄

種別	ご意見とご要望・ご提言	対応
農業振興	・大豆刈り取りの省力化として、バインダーの導入をお願いしたい。	▶担当係が同席。村内の導入機械を調査の上、検討。
農産物直売所運営	・手まめ館の運営改善の指導をお願いしたい。(書面提出)	▶担当課内に繋ぎ、今後の対応を関係者を交えて検討。
共有地の有効活用	・青生野十日塚地内の旧桑園の有効活用をお願いしたい。	▶現在、採草地として活用されている。今後、民間等の用地活用の要望があれば、紹介したい。

※ご意見の内容によっては、すぐには実行できない場合もありますので、ご理解をお願いします。

■今月の納税 納期限：12月27日(月)

- ・村県民税(第4期)・国民健康保険税(第7期)
- ・介護保険料(第7期)
- ・後期高齢者医療保険料(第5期)

■ふるさと納税・寄付 [10月受理分]

- ・ふるさと納税…40件

※村社会福祉協議会への寄付は除く
ふるさと納税サイトはこちらのQRコードからご確認ください↑

第46回 修明高校鮫川校だより

こゝ鮫川の山峡に
――創立74年の歴史――

平成10年11月21日、宿ノ入の現校舎にて、「創立50周年記念式典」が挙行されました。

新宿から伏木田、そして宿ノ入へ。校舎の移転を繰り返しながら、鮫川校は村民の皆様を支えられ、50年という節目の年を迎えました。

記念事業として、「校歌碑」、「校門」、「学校案内板」が設置され、記念式典では、地域に根ざした学校として、新たな進展を誓いました。



文・写真/修明高校鮫川校
TEL 49-2029 FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp

さめがわいいとこ再発見 インスタグラムフォトコンテスト 結果発表



村では今年度から、フォトコンテストのインスタ部門を開設しました。100件を超える投稿があり、どの写真も”鮫川村のいいとこ”が表現されている素晴らしいものでした。これからも、たくさんの方が村を訪れ、インスタで写真を投稿し、村の魅力がさらに広まって欲しいと考えています。入賞作品は以下の5点です。受賞者のみなさんおめでとうございます！



特選

@ yuzukiaroma さん



#さめがわいいとこ
#さめがわフォトコン 2021
#特選#投稿ありがとう



入選

@ marucoro.gogo さん



入選

@ yamaaaasan さん



#さめがわいいとこ
#さめがわフォトコン 2021
#入選#佳作#投稿ありがとう



佳作

@ s.yamanon さん



佳作

@ nan_chariwan さん

ハッシュタグ
#さめがわフォトコン 2021
で全ての応募作品をご覧になれます。



鮫川村公式
インスタグラム